

社会福祉法人長寿会 事業案内及びサービス紹介

特別養護老人ホーム『陽光の園』	18 - 19
軽費老人ホーム『箱根山荘』	20 - 21
『陽光の園』介護サービスセンター ショートステイ	22 - 23
『陽光の園』介護サービスセンター デイサービス	24 - 25
『陽光の園』介護サービスセンター 居宅介護支援	26 - 27
地域包括支援センター『しろやま』	28 - 29
食事サービス	30 - 31
送迎サービス	32 - 33
特別養護老人ホーム『陽光の園』看取りケア	34 - 35
地域に開かれた箱根山荘のリニューアルにむけて	36 - 37

「陽光の園」ご案内

医務室

診療日が週に1回あり、嘱託の先生と看護師が相談を重ねながら、ご入居者の健康管理や服薬確認を行っています。急な状態変化にも医師と多職種で連携をとり対応します。ご本人・ご家族が望む最期を迎えられる様、看取りケアにも力を入れ支援いたします。



浴室

ご利用者の一番の楽しみともいえる入浴は、お一人お一人のお体の状態に合わせ三種類の浴槽があります。ご自分の出来る部分はお自分で。出来ない部分は職員がお手伝いさせていただきます。どの浴槽でも肩まで湯船に浸かって頂けます。

陽光の園の水は全て箱根山系の地下水です。肌にやさしい水なので皮膚トラブルが改善されたという方もいらっしゃいます。



中庭

中庭ではJA神奈川のボランティアの方々年2回花の植え替えをしてくださっています。美しい花々に囲まれて、お茶会をしたり、日光浴を楽しんでいます。



食堂

管理栄養士が考えた栄養バランスを十分に考慮した、季節感あふれる食事をご用意しています。毎月一回豪華で色とりどりの〈お楽しみ食〉を提供させていただいたり、きざみ食やペースト食など嚥下（飲み込み）状況に合わせた食形態も対応し、安全に食事を楽しめるようにしています。



居室

半円型を活かし、プライバシーに配慮した居室です。全てのベッド横に窓があり、障子越しに光が入ります。作りおきのタンスに荷物を入れ、定期的な衣替えはご家族にお願いしています。その人らしいお部屋を作って下さい。



レクリエーション

ご利用者の皆さんが集まって歌を唄ったり、体操をして身体を動かしたりと、皆さんの笑顔がたくさん見られます。



食事

家庭的な食事を提供できるよう施設内調理場でお作りしています。



季節ごとの行事食や、誕生月には食べたいものをリクエストできるなど、食生活が豊かになる工夫をしています。



クラブ活動



折紙クラブ・太極拳・コーラス会・器楽の会のなどのクラブ活動は生活の張りを作り出します。外部から講師をお招きし、無料で参加できます。

四季折々に生活の息吹を感じる支援をめざして

- ご入居者の人格・個性を尊重し、円満かつ家庭的な雰囲気づくりに努めます。
- ご入居者が日々楽しく、安心・快適に過ごせるよう工夫します。
- 高齢者の生活施設として、ご入居者の健康管理に留意します。

介護予防

筋力アップのための「ここにこ体操」やあたまの体操「脳トレ」、散歩クラブなどを実施し、認知症予防・筋力低下予防を目指し、施設の生活を継続してゆけるよう取り組んでいます。



体の健康

常勤の看護職員と月2回の嘱託医による診療で健康管理に努めています。

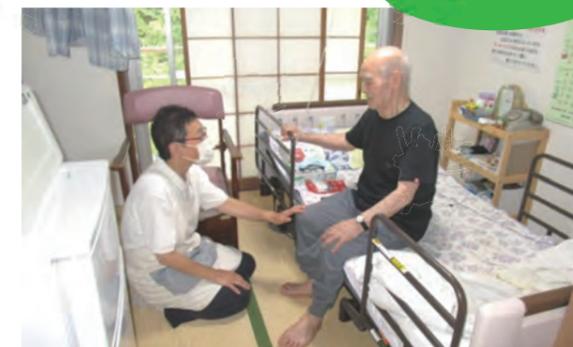


安心・快適な生活環境

箱根山荘は、ご本人の年収が所定額以内の高齢者で、家庭環境や住宅事情により、独立した高齢者生活を送る必要のある方が安心して楽しい日々を過ごせることを目的とした自立型施設です。



生活援助



身の周りのことは、ご入居者自身でおこなっていただけますが、個々の状態に合わせて、居室の清掃や入浴のお手伝い等の援助をいたします。また、月に二度の買物送迎や、衣料品・介護用品等の販売業者が定期的に訪問いたします。

年中行事



季節を感じて頂けるよう、四季折々の行事をおこなっています。(ひなまつり、七夕、菖蒲湯など)また、外出の機会を増やしていけるよう、地元のお祭などへ参加しています。



陽光の園のデイサービスではおもてなしのケアを実践します。



四季それぞれ移りゆく自然の変化を楽しみながら、明るい広々とした空間で1日を生き活きとゆったり過ごしていただけます。

食事・食後のひととき

高齢者に適した安定した家庭的料理です。
食後にはティーサービスでくつろいでいただけます。



管理栄養士が考えたひとり暮らしの方などへの夕食弁当サービスもあります。

生きがい創出・多様なレクリエーション

書道・壁面作り・脳トレ・軽体操から選択できます。
ピアノの生伴奏もある充実した音楽レクリエーションもあります。
手作業の取り組みによりポイント獲得した方へ、生きがい賞を提供します。
手作りおやつにも取り組みます。



居心地の良い生活空間

広々としたデイサービス 愛着のあるソファで
くつろいでいただける環境整備です。
大型テレビ・マッサージ等リラクゼーションのためのアメニティーもあります。



介護度の軽い方から重い方までショートステイや
特別養護老人ホーム併設の事業所だからこそ出来るサービスがある。
経験豊富な専門職員が連携を取り様々な
個別ニーズに対応します。



箱根山麓の良質な成分の地下水を利用した広々としたお風呂。
身体状況に合わせて、普通浴・座位浴・寝台浴の設備が完備されております。

※施設周辺や屋上では森林浴も楽しめます。

入浴



特別養護老人ホーム看護師との連携で中重度の方へも対応します。
リクライニングベットや車椅子も完備しています。

重度の方にも対応した看護・介護サービス



辛い、苦しい訓練でなく、楽しく生活に密着した
練習をしながら目標を達成します。
また、広いリハビリ室・階段昇降・屋外歩行など立地と施設を活かします。

楽しく生活に密着した機能訓練サービス

みなさまの生活に寄り添ってより良い介護のお手伝いをさせていただきます。● 陽光の園 介護サービスセンター ケアマネジャー一同 ●

皆で協力し事業所として支えます

高齢夫婦・一人暮らし・ご家族と一緒に生活、その人様々です。その中で、何に困っているのか、ご本人やご家族と考えながら支援をさせていただきます。

ケアマネジャーとして、ご家族が1人で抱え込むのではなく、皆で考えて改善していこう!と思っています。

(主任 川瀬)



夫婦の支え合いを大切に

昨今話題の、老老介護・認知介護（認知症の方が認知症の方を介護する）であるご夫婦の、生活支援をさせて頂いた際には、ご夫婦の「出来る事」「出来ない事」を見極めながら、介護と行政が協力して生活をする事が出来ました。「望めば出来る・暮らせる」を全ての方が、叶えられるように、支援させて頂けたらと思っています。

(吉田)



家族のニーズにも寄り添います

印象に残る方は、寝たきりの方を介護されているご家族が車で2時間程のご実家のお墓参りに連れて行きたいという依頼でした。主治医や関係事業所の協力のもと久しぶりのご実家でご親戚にも会え楽しい時間を過ごされました。ご本人が喜ばれる姿を見てケアマネジャーをしていて良かったと思いました。

(松橋)



利用者を地域のサービスの橋渡しをします。

ご利用者の声

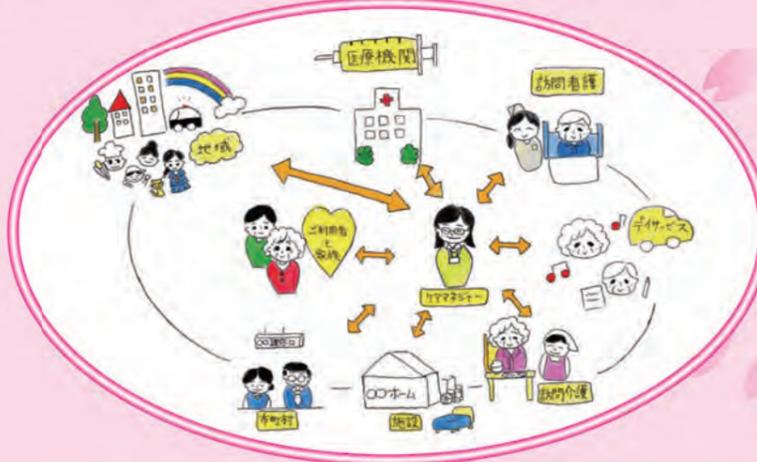
佐藤 絹子様 (要介護2)

家にずっといた時は、外にも出ずにいたけれど、ケアマネジャーさんに来てから、介護サービスを紹介してもらい、デイサービスやショートステイに行くことになりました。昔から好きだった歌を歌ったり、お友だちと話しをしたりと楽しい時間を過ごす事が出来ています。ケアマネジャーさんありがとう。



ケアマネジャー(ケアマネ)ってどんな事をするの?

介護が必要になった時にご家族と一緒に何が出来ていて、何に困っているのかと原因の把握を行います。ご本人やご家族と、サービスを導入した時の生活をイメージしながら、今起きている困ったことが解決できるよう介護計画(ケアプラン)を作ります。ご本人やご家族・支援する介護事業所や地域と話し合いを行いサービスがスタートします。



ご家族の声

家族：佐藤絹子様の娘様

ケアマネさんと出会ってから家の生活は一変しました。ケアマネさんとの出会いは、母が要介護1の認定が出て、包括支援センターに相談に行き、紹介してもらったのが最初です。私達の話しや母の話を聞いて下さり、母に合ったデイサービスやショートステイを紹介して下さいました。それまで家に引きこもった生活をしてきた母でしたが、デイサービスやショートステイを利用し始めて、表情も良くなった気がします。生活リズムも整い今は本当に穏やかに過ごせています。急なことがあったとしても、ケアマネさんが直ぐに来てくれて、色々手配をして下さったり、感謝しています。



安心を届けます

ご病気もあり、一人暮らしをされている高齢の方で、身の回りの事に少しずつお手伝いが必要となってきたのですが、「このまま家で生活がしたい。」そのお気持ちを大切に包括支援センターに相談をし、その方の望む生活をどのようにしたら実現できるのか他の機関等とも話し合いを重ね、その方の思いを実現出来たことが印象に残っています。

(土屋)



医療との連携で看取りまで

介護保険を利用して暮らしやすくなるようケアマネジャーとしてお手伝いさせていただきます。高齢ご夫婦の生活に関わり、病状が徐々に進む中、介護者の揺れ動く気持ちに寄り添い在宅での看取りまで医療と介護サービスの調整をした事が思い出されます。これからも地域の方々の生活に溶け込めるようなサービス提供を心掛けていきます。

(榎本)



笑顔で頑張ります

初めてのケアマネジャー業務ですが、厳しくても楽しい職場で優しい先輩方に指導して頂き1つ1つ確実に学んで行きたいと思えます。

(山本)



地域の要望に私たちがお応えします

高齢者の

健康増進

介護予防

地域の相談援助

に取り組んでいます！



介護予防・筋トレ事業
市内5地区のご高齢者の健康維持・増進をはかるため筋トレ教室を運営しています。4人の講師が頑張ってます。
☆清水 和彦☆
(箱根山荘施設長・理学療法士)



大窪
10年にわたり、月一回筋力向上トレーニングに講師として参加しております。健康の輪が広がり、今では2つの教室を担当することになりました。



芦子
高齢者筋力向上トレーニングの指導を通じて、地域の皆様がいつでも健康で、活力ある日常生活を送っていただけるよう頑張っております。



芦子地区筋トレ
(生涯学習センターけやき)

緑
緑地区筋トレでの理事長による福祉講話 身近に地域包括支援センターがあり、様々な相談も気軽に出来て、ありがたく感じています。
緑地区 老人会会長 浅岡 紳



緑地区筋トレ
(緑公民館)

十字
身体の芯から心地よい解放感を味わっていたくために、様々なプログラムを工夫しています。



万年地区筋トレ
(浜町公民館)

万年
地域の皆様が、楽しく健康維持できるよう心がけています。



地域包括支援センター しろやま

☆府川 祐子☆ (主任ケアマネジャー)
住み慣れた地域で、その人らしく生活が続けられるように、介護保険サービスの利用等についても、相談しながら支援させていただきます。地域以外の方でも、悩んだ時にはご連絡ください。



☆鈴木 等☆ (社会福祉士)
暮らしの中で起きる様々な問題（お金・保証人・サギ・虐待など）について、解決策を一緒に考えましょう。お住まいの皆様が主役です。



☆塩澤 美由紀☆ (看護師)
地域の方々の様々な相談を受け、住み慣れた場所で、安全かつ健康な生活を送っていただけるように、様々なサポートを行っていきます。気軽に立ち寄って相談してください。



最期の生活でも楽しく美味しくそして安全に食事を食べることができ
るために



ソフト食完成までの道のり 飲み込みが難しくなっても 食べる喜びのある生活

野菜のソフト食を例に手順をご紹介します。



exe.1

魚の常食・ソフト食・刻み食ができるまで

陽光の園では、ご利用者の噛む力や飲み込む力、またはお口の中の状況に応じて大きく“常食”“刻み食”“ソフト食”の3つに分けています。その作業工程と違いをご紹介します！



医務室

舌でつぶして飲み込める形態になり嚥下や咀嚼が低下しているご利用者にも安全に美味しく最期まで食べてもらえるようになりました。

介護課



お食事のお手伝いをさせていただいているなかで、より安全に食事が食べれているまた、食べさせることが出来ていることを実感しています。高齢になると、噛む力や飲み込む力が段々と弱くなってきてしまいますが、ソフト食はそういった部分を補っているのと同時に、口の中で食物をかたまりとする力（＝食塊形成）も手助けしてくれています。これによって咽下詰まりの危険性を少しでも減らすことができ、ご利用者も職員も安心して食事の時間を楽しむことができます。

栄養室

摂取量が上昇し残菜が少なくなりました。ご利用者の口の中の残渣も少なくなり咽こみも少なくなりました。既製品ではないのももちろん手間暇はかかりますが、食感の良さや素材の味を大切にしています。今後ソフト食を進めていくに当たり、陽光の園のご利用者に向けた固さや食感などを改良してよりよいものを提供できればと考えています。



朝の風景



エンジンよし!

運転手が毎朝早くから送迎車の点検・清掃をしています。



みなさんに乗せる車、毎朝の掃除・点検は念入りに行います。

シャトル便を使う職員の声

- ・福祉施設は山の奥にあることが多くて歩くのが大変だが、ここにはシャトルバスがあるから就職しようと思った
- ・いつも時間ピッタリだから助かる
- ・「お疲れ様」といつも声をかけてくれる

シャトル便 駅⇄陽光の園

電車の時刻に合わせて運転手が入生田駅で待っています。駅舎のベンチのところに時刻表があるヨ!



シャトル便は朝6時から夜8時まで運行しています。



朝のお迎えの様子

朝お迎えにあがり、ご家族にご自宅での様子をうかがいコミュニケーションをはかります。Face to Faceなおつきあい!

ご自宅での様子はどうですか?

変わりありません。



送迎は運転手とケアスタッフの2人体制で行います。

ご利用者の声

- ・みんな良い人達で、とても親切
- ・いつも優しく接してくれる
- ・家の中まで荷物を運んでくれる
- ・何度もお礼を言いたいくらい感謝しています



夕方のお送りの様子

お変わりなく元気に過ごされていました。

いつもありがとうございます。



デイサービスやショートステイご利用後、ご自宅まで送迎します。ご利用中の様子をご家族に伝えて、コミュニケーションを大事にしています。



みなさんまたのご利用をお待ちしています。



電話連絡

ショートステイご利用者のご家族へ送迎の時間をお伝えしています。

お変わりないですか?では明日10時にお迎えにあがります。



送迎スタッフ 大曾根

デイサービスは片道30分、ショートステイは片道1時間以内で送迎できるエリアの対応をしています。

行楽の様子

みなさん元気です。

看護師さん、入居者の体調はどうですか?



ご入居者の行楽にも送迎班が出動します。

☆ 陽光の園に到着しました ☆

国の中までしっかりサポート



楽しみだな♡



陽光の園ご入居者も、車に乗って行楽に出かけられ、気分転換をはかります!!



嘱託医

加齢等の進行では、全身がしだいに衰弱します。そうした終末期の介護、看護、医療は当施設で可能です。身体の清潔を保ち、できるだけ経口摂取に努め、苦痛を和らげ、尊厳を守ります。



嘱託医：窪倉明雄



嘱託医：野崎宏幸



嘱託医：長尾忠美

医務室

施設で“看取る”という事は、病院とは大きく違います。ご自宅で家族に見守られながら、最期の時を迎える環境と似ています。医師・看護師・介護スタッフ等のもと、“苦痛の無い安楽なケア”を心がけ、穏やかな最期の時を、“ご家族と一緒に”迎え、お送りさせていただきます。



栄養調理室

食事は身体が動けなくなっても、認知症が進行していても、比較的到最后まで残される人間の楽しみの欲求であります。好きな食べ物、遠い懐かしい味、好きな人との食事風景、家族との団らんだったり…。“その人らしい最期”を迎えられるように、“食事”を通して関わっています。



音楽療法士

看取り期に入って意識が混濁してきても、“聴力は残っている”と聞きます。居室にオルゴールを流したり、門送りではピアノを演奏してみたりしてきました。今は、ご本人の好きだった“音楽で穏やかに”過ごして頂きたいと考えています。



優しさに包まれて



生活の場所として陽光の園を選択されたご入居者が、病状の進行により嘱託医の診断のもと終末期と認められる場合があります。その終末期を住み慣れた陽光の園で過ごしたい、過ごさせたいとご希望されるご入居者、ご家族に対して看取り介護を実践しております。

相談室

人生という舞台にも“終焉”が誰にでも訪れます。そのページに“上手に関われれば”と考えます。ご家族は悲しみの中、葬儀や埋葬の心配もしなければなりません。看取り介護が滞りなく実践されているのか？ご家族に不安は無いのか？を考えながら、“寄り添う”ように心がけています。



介護課

多くの方を看取らせて頂くなかで、様々な人生があるように、“最期の時もそれぞれ”と感じています。最期の時まで“個別に寄り添えるケア”…。また、残された家族の心に少しでも『良かった…』、そう思って頂けるような看取りケアの実践を、介護スタッフ一同目指したいと思います。



「陽だまりノート」とは
ご家族と職員が「看取り介護期にあるご利用者の今」を共有できるようにと、日々の様子や容体を記録し作成するものが『陽だまりノート』です。職員もご家族も自由に記録を残しています。

～『陽だまりノート』より抜粋～

(ご利用者の様子)
夜勤の挨拶に行く目目を開けて下さいました。両足が乾燥していたのでお薬を、唇にはリップクリームを塗りました。口の中も乾燥しがちなので、湿らせたガーゼに水分を含ませ、保湿に努めています。気持ちよく休めるように、枕のタオルを交換しました。

(ご家族へ)
お泊りありがとうございます。毎回ソファで休まれるので、身体が疲れると思います。体調にお気をつけてください。

(看取り後のご家族へまとめ・振り返り)
いつも〇〇様の笑顔に沢山の元気を貰っていました。長い間本当にありがとうございました。私たちも〇〇様のお世話を通して色々勉強させて頂きました。娘様も、ご家族様もどうぞ体調に気をつけてお元気でいてください。本当にありがとうございました。

機能訓練室

病気や障害などで、自分で体を動かせない状態での生活が長くなると、関節が曲がってしまい、固まってしまうことがあります。最期まで、“できるだけ普通の姿勢”で過ごせるよう、看護師や介護職員と連携し、“苦痛を与えない愛護的援助”に努めます。

